



ファイナルラップで見事なオーバーテイク！
IPS最終戦は3位表彰台獲得！



**Inter
Proto
Series**

Inter Proto Series POWERED BY KeePer
RD.5 & RD.6

2025年11月8日（土）～9日（日） 富士スピードウェイ（静岡県）

No.16 TOMEI SPORTS / Lalaparusa
渡邊 久和 / ロニー・クインタレリ

RACE RESULT (Ronnie Quintarelli / Pro)

Date	Session	Position	Best Time	Lap	Gap
11/8	Qualifying Results (Pro)	5	1'44.938	6/6	0.905
11/9	IPS Rd.5(Pro)	5	1'58.150	2/9	5.773
11/9	IPS Rd.6(Pro)	3	1'58.755	7/8	2.409

国内トップドライバーが集い、激しいバトルが繰り広げられるインタープロトシリーズ。参戦するドライバーの中には、2025シーズンSUPER GT500クラスでシリーズチャンピオンを獲得した山下健太選手や、ランキング2位の牧野任祐選手も参戦するなど年々ハイレベルなシリーズとなっている。そんなインタープロトシリーズも今シーズン最終大会、Rd.5&Rd.6を迎えた。

11月8日（土）の予選日の富士スピードウェイは、今にも雨が降り出しそうな天候であったが、ドライコンディションで予選が行われた。毎戦同じシーンが見られるが、15分間の予選がスタートしても各車動かず、5分ほどが経過した後に各車コースインをしていくが、ロニーも残り10分ほどで、コースイン。タイヤをウォームアップをしながら、アタックのポジション取りをし、5周目からアタックをスタート。6周目に予選ベストタイムをマークするも、5位で予選を終えた。

翌日の決勝日は雨となり、ウェットコンディションでのRd.5&Rd.6の決勝レースとなった。雨が激しくなる中、まずは9周のRd.5決勝レースがスタート。上位4台から、やや離されるも順調にスタートをしたロニー。上位4台が僅差で、特に牧野選手と山下選手のトップ争いと、ト部選手と福住選手の3位争い



が激しくなる中、ロニーはスタート順位のまま5位でRd.5を終える。5分間のインターバルを経て、続けて8周によるRd.6がスタート。ロニーはRd.5とは違い、上位4台のグループに続いて順調なスタートを切る。4位のト部選手の背後に接近し、ロニーが攻め立てプレッシャーをかける。すると5周目の13コーナーでプレッシャーに耐えきれずト部選手がコースアウト。ロニーが4位に上がる。ロニーの勢いは止まらず、7周目にはベストラップをマークしながら、3位の山下選手に接近しながらファイナルラップへ。山下選手に接近したまま最終コーナーを立ち上がり、ストレートで山下選手とサイドバイとなり、チェッカー目前で山下選手をオーバーテイクし、3位でレースを終えた。

インタープロトシリーズ最終戦は、ファイナルラップでロニーがファンに魅せる、見事なオーバーテイクで3位表彰台獲得となった。現役トップドライバーが多く参戦するインタープロトシリーズ最終戦でロニーの存在感をあらためて示す、最終戦となった。

Ronnie Quintarelli's comments

3位表彰台で今シーズンを終えることができ、とても嬉しかったです。

今回の難しい路面コンディションの中で、日本のトップドライバーたちとチェッカーまでしっかりバトルできて、僕の中で一番、満足できました。

今シーズンもたくさんのサポートしてくれたスポンサーの皆さん、TOMEI SPORTの皆さん、ファンの皆さん、ありがとうございました。

IPS Youtube Channel (Final & Qualifying)



<https://www.youtube.com/watch?v=Xx6Uebbh0KU&t=5619s>



<https://www.youtube.com/watch?v=Ns67wY0jGLA>

PHOTO GALLERY



©Masakatsu Sato